

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース		中学3年	教科／科目		数学(代数)	時間数	3
1学期(前半)							
単元名	第1章 数と式					使用教材	
単元の概要	(1) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則演算をできるようにする。 (2) 乗法公式・因数分解公式の理解を深める。 (3) 1次不等式の解を求められるようにし、事象の考察に活用する。					数研出版 「サクシード I + A」	
評価規準				単元内容			
究	A3	B3	C3	1 多項式の加法と減法 および乗法 2 展開の公式 3, 4 因数分解 5 実数 6, 7 平方根 8, 9 1次不等式			
	実数や有理数・無理数など数の世界に目を向けて研究し理解することができる。						
活	A2	B2	C2				
	絶対値を含む方程式・不等式など応用的な内容の知識を身につけ、問題の解法に活用できる。	黒板やスライドを用いて実数範囲での計算や、一次不等式について解説を行うことができる。	自分で作成した問題の解法を工夫して作成しまとめることができる。				
礎	A1	B1	C1	<留意点・評価> <留意点> 3～4人のグループによる活動を適宜入れていく。 <評価> (1) 定期試験 (2) PBL授業における議論、発表、成果物 (3) 提出物			
	実数・無理数の四則演算、展開・因数分解、一次不等式の内容を理解し、基本的な問題を解くことができる。	教え合いや討論を通じて、理解を深めることができる。また、記述式的答案を作成できる。	習得した知識を活用して、自分で式の計算や実数範囲での計算、一次方程式の問題を作成することができる。				
	知性・知識	応用・発展	創造的思考				

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	中学3年	教科／科目	数学(代数)	時間数	3
1学期(後半)					
単元名	第2章 集合と命題			使用教材	
単元の概要	(1)「ものの集まり」の表現の方法を学ぶ (2)ある事柄について述べられた文や式が正しいか正しくないかを論理的に考えるために命題や条件について理解する			使用教材	数研出版 「サクシード I + A」
評価規準			単元内容		
究	A3	B3	C3	10, 11 集合 12, 13 命題と条件 14 命題と証明	
	幅広く数学に関する知識を身につけており、どんな命題に対しても真偽の判断を論理的にすることができる。	自分で命題をつくり、真偽の判断を論理的に思考し、真偽の判断についてまとめ、他者に発信できる。			
活	A2	B2	C2		
	教科書の章末問題や問題集の総合問題に必要な知識を習得、解法に活用できる。	黒板やスライドを用いて、真偽の判定や問題解法の解説を行うことができる。			
礎	A1	B1	C1	〈留意点・評価〉	
	集合や命題と命題に関する内容を理解し、基本的な問題を解くことができる。	教え合いや討論を通じて、理解を深めることができる。また、記述式的答案を作成できる。	真偽の判断が難しい問題に対して、数学的手段を用いて論理的に考え、自分なりの見解を出すことができる。	<留意点> 3～4人のグループによる活動を適宜入れていく。 <評価> (1) 定期試験 (2) PBL授業における議論、発表、成果物 (3) 提出物	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	中学3年	教科／科目	数学(代数)	時間数	3
2学期 期末試験まで					
単元名	第3章 2次関数			使用教材	
単元の概要	(1) 2次関数のグラフの特徴を理解する。 (2) 2次関数の値の変化についてグラフを用いて考察する。 (3) 数量の関係を2次方程式・2次不等式で表し2次関数のグラフを利用してその解を求める。			数研出版 「サクシード I + A」	
評価規準			単元内容		
究	A3 関数の概念や知識を深め、三角関数や指数対数関数などこれから学習する関数へ知識を応用することができる	B3	C3 社会現象を数学的に捉え、関数を利用して事象について考えることができる	15 関数とグラフ 16 2次関数のグラフ 17 平行移動・対称移動 18, 19 2次関数の最大と最小 20 2次関数の決定 21 2次方程式 22 グラフと2次方程式 23, 24, 25 2次不等式 26 2次関数のいろいろな問題 27 いろいろな関数のグラフ	
	A2 教科書の章末問題や問題集の総合問題に必要な知識を習得、解法に活用できる。	B2 黒板やスライドを用いたり、グラフなどを利用して、問題の解説を行うことができる。	C2 出した仮説を検証したり、内省したりして、最適化する。		
活	A1 2次関数・2次方程式・2次不等式の内容を理解し、基本的な問題を解くことができる。	B1 教え合いや討論を通じて、理解を深めることができる。また、記述式的答案を作成できる。	C1 身近な事柄を関数の知識を結びつけて論理的に思考し、仮説や予想をたてることができる。	〈留意点・評価〉	
				<留意点> 3～4人のグループによる活動を適宜入れていく。 <評価> (1) 定期試験 (2) PBL授業における議論、発表、成果物 (3) 提出物	
礎	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	中学3年	教科／科目	数学(代数)	時間数	3
3学期 期末試験まで					
単元名	第5章 データの分析			使用教材	
単元の概要	(1) 統計の基本的な考え方を理解する。 (2) データの傾向を把握し、説明できるようにする。			数研出版 「サクシード I + A」	
評価規準			単元内容		
究	A3 表計算ソフトを利用してデータの分析ができる	B3 身の回りのデータを分析しまとめ、数学的根拠にしたがって他者に説明することができる	C3 社会的事象に対し、データを集め、論理的に分析したり、仮説をたてることができる。	36 データの整理, データの代表値 37 データの散らばりと四分位範囲 38, 39 分散と標準偏差 40, 41 2つの数量の間の関係 42 仮説検定の考え方	
	活	A2 教科書の章末問題や問題集の総合問題に必要な知識を習得、解法に活用できる。	B2 黒板やスライドを用いて、データの内容を整理し、分析して説明することができる。		
礎	A1 データの用語や必要なデータの求め方を理解し、基本的な問題を解くことができる。	B1 教え合いや討論を通じて、データに関する理解を深めることができる。	C1 身近な事柄や判断が難しい事柄のデータを集め整理し、論理的に分析して仮説をたてることことができる	<留意点・評価> <留意点> 3～4人のグループによる活動を適宜入れていく。 <評価> (1) 定期試験 (2) PBL授業における議論、発表、成果物 (3) 提出物	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		